

2022年度 辰巳台地区社会福祉協議会 事業計画

<活動方針>

「互いを尊重し、互いに支え合い、誰もが自分らしく活躍して暮らすことができるまち（地域共生社会）の実現をめざす」という、市原市地域福祉計画の基本理念を念頭において、辰巳台地区の福祉活動を進めていきます。

<活動計画>

○居場所づくり

（1）通いの場「ほっとサロン」

今年度も開催場所、開催日時は変わりませんが、コロナ感染対策をしながら実施の可否についても状況を見ながら進める予定です。

昨年同様、参加者でもあるボランティアの方2名が合唱や遊びをリードしてくださることで、参加者一同、充実した楽しい2時間を過ごすことが出来ています。また、地域の団体から2名、年間で延べ88名の方にお当番をしていただくなど、多くの方々の協力を得て運営していきます。

（2）子ども食堂「辰巳台地域子ども食堂・だんだん」

今年度から名称を変更しました。引き続き、コロナ感染対策を行いながら、「お弁当の提供」、「フードパントリーの実施」それに本来のかたちである「会食」など状況を加味し、実施していきます。学校への紹介チラシの配布、SNSでの情報発信など、スタッフに若い年代が加わっていただけることを目指していきます。また、市原市内の「市原市地域（子ども）食堂ネットワーク」にも参加し、他グループとの連携も図って参ります。

○人材発掘・人材育成事業

コロナ禍はしばらく同じような状況が続くものと思われることから、福祉体験教室の実施や学校ボランティア募集についても、学校側と十分に話し合い、連絡をとっていきます。

○地区行動計画推進委員会（第二層協議体）

昨年度に決定した新たな検討テーマ「日常生活支援事業（たすけあい辰巳ねこの手）の充実強化」に向けた具体的な検討を進めます。

○福祉バザー&福祉まつり（連合町会と共催）

3年ぶりの実施に向け、市社協とも調整していきます。

○自主財源づくり事業

- ・リサイクル（資源回収）については、増量につながるよう SNS や広報誌を使った周知活動を図っていきます。
- ・賛助会員制度は、地区社協の活動を具体的にアピールすることで、増員を目指します。
- ・福祉バザー&福祉祭りの模擬店、お楽しみ券などを実施します。
- ・募金活動（黄色いレシート還付金など）を実施します。

○情報発信の強化

前年度に引き続き、地域にタイムリーな情報発信を行うために、SNS を活用し運用方法を含めた検討を行い、多くの人に見てもらえる情報発信を目指します。

○相談支援事業

今年も民児協との連携・協働のもと、毎月1回（第1日曜日）に実施していきます。今年度から名称を「なんでも相談」と称し、気軽に相談が出来る体制を目指すとともに、地区社協として地域課題の把握に努めていきます。

また、地域福祉活動計画に基づき辰巳台地区での新たな相談支援体制について関係団体を交えた検討を進めていきます。

○災害対応

地区社協の役割について確認し、災害時の地区社協の対応（主にはボランティアセンターの設置など）について検討し、災害ボランティアセンター設置運営訓練等に参加します。

○会議

総会 : 年 1 回
理事会 : 年 2 回
町会長との会議 : 年 1 回
三者役員連絡会議 : 隔月 1 回
合同役員会 : 随時
事務局会議 : 毎月 1 回
第 2 層協議体 : (年 4 回程度)
地域子ども食堂 だんだん 打ち合わせ : 毎月 1 回
検討会、実行委員会、その他会議は必要に応じて開催

○研修

- ・ 民児協との共催で、辰巳台地区地域福祉合同研修会を 2 月 5 日（予定）に実施します
- ・ 事務局スキルアップのための研修会に参加
- ・ 県、市、他団体主催の研修会に参加

○関係団体との連携

- ・ 辰巳福祉ネットワーク事業への支援及び連携
- ・ たすけあい辰巳ねこの手の事業への支援及び連携
- ・ 辰巳ふれあいセンター運営委員会によるセンターの管理・運営に協力
- ・ 地域の各団体主催の行事、また施設を提供してくださっている琢心会の行事に参加、協力